

# 令和7年度の取組予定

令和 7年 6月 5日

江の川上流大規模氾濫時の減災対策協議会

三次市・安芸高田市・広島県・広島地方气象台・国土交通省中国地方整備局

## 令和7年度取組予定【三次市】

### ■流域治水に関する取組

江の川流域水害対策計画や「流域治水」及び三次市における内水方針に沿って、防災部門、建設部門、農業振興部門の部署が連携し、ハードとソフトの総合的な治水対策を推進するとともに、地元の理解も得ながら排水量を調整する水田貯留の推進やため池利用の検討をしていくとともに、引き続き土地利用規制など安全な住まい方を啓発していく。

### ■水防体制の強化に関する取組

災害対策本部と水防体制を強化するため、市が所有する排水機場の計画的な整備・更新等を実施するとともに、仮設ポンプの商用電源化や仮設ポンプの効率化を図り内水被害の軽減を図っていく。また、消防団に配備した可搬型水中ポンプの稼働訓練等を実施し、円滑な活用ができるよう取り組む。

### ■自主防災組織に関する取組

自主防災組織が行う防災訓練について、自主防災組織活動補助金を活用し、女性の視点も踏まえながら避難所運営訓練等行う。

### ■避難確保計画の作成等の支援及び避難行動要支援者に係る個別避難計画の作成

三次市地域防災計画に記載された要配慮者利用施設の避難確保計画作成等の支援、並びに自主防災組織、民生委員及び福祉事業所と連携協力しながら避難行動要支援者の個別避難計画を作成する。

### ■洪水想定訓練の実施

関係機関と連携しながら、災害対策本部の情報伝達訓練や国・県・市が所有する排水ポンプ車の合同稼働訓練、また自主防災組織や女性消防団、協定締結先企業に協力を得ながらの避難所運営訓練等を行う。

### ■防災教育の充実

市内小学5年生を対象に、防災士を講師に、教育課程に位置付けた体験活動教育事業を実施するとともに、積極的な出前講座の実施に取り組む。

## 令和7年度取組予定【安芸高田市】

### 1. 自主防災組織活動支援(継続)

- ・訓練事業への補助
- ・職員等の派遣
- ・避難の呼びかけ体制構築

### 2. 自主防災組織活動成果報告会の開催(継続)

- ・市内の自主防災組織の活動成果報告を実施する。

### 3. 避難行動要支援者に係る個別避難計画の作成(新規)

- ・福祉専門職や福祉部局と連携協力しながら避難行動要支援者の個別避難計画を作成を進める。

### 4. 災害時における協定団体との共同訓練の実施(継続・新規)

- ・協定を締結している安芸高田署と合同で訓練を行う。
- ・協定を締結している民間企業と合同で災害時の物資輸送訓練を行う。

### 5. 市役所内各部の訓練・研修の実施(継続・新規)

- ・避難所開設に係る職員の知識等の習熟を図るため、各支所(5支所)において避難所開設訓練を実施する。
- ・災害応急対応にかかる各部班の研修・訓練を実施する。

## 令和7年度取組予定【広島県】

### ■水防災を意識した防災教育の実施

小学校等を対象とした「ひろしま防災出前講座」を開催します。



一人ひとりが  
自分の命を自分で守り抜く力を身につけ、  
未来の防災リーダーとなるために。

近年多発する風水害から命を守るための意識を、  
児童に持ってほしい

ひろしまマイ・タイムラインや土砂災害・洪水の  
基本知識を学ばせたい

学校で実施している防災教育にプラスして、  
外部講師による講義を受けたい

参観日や避難訓練に合わせて、講義を受けたい



今まで広島県が行ってきた、  
「ひろしまマイ・タイムライン出前講座」・「砂防出前講座」・「河川出前講座」が

### 「ひろしま防災出前講座」

として生まれ変わりました!



(リニューアルのポイント)

- 避難所・応接室など、避難所しべに合わせた授業も選択可能!
- 人型ロボット「Pepper」くんと一緒にマイ・タイムラインを学ぶ授業を新設!
- 「体験学習型」などの選べるオプションメニューを充実し、多角的な視点から総合的に学べる講座に!
- 「キッズ防災士」の認定講座を新設!

お問い合わせ先  
4月1日(水)迄の受付  
[https://www.genai.net/hiroshima.jp/files/docstopic\\_36cc2319c3253b1c1cb01ccc8f4a7\\_1.pdf](https://www.genai.net/hiroshima.jp/files/docstopic_36cc2319c3253b1c1cb01ccc8f4a7_1.pdf)

### ■避難行動を支援する効率的な河川巡視・水防活動

関係機関が連携した水防工法講習会を沼田川河川防災ステーションで行います。

### ■住民の避難行動を支援する防災情報の提供

X (旧Twitter) 等を活用し、平常時は防災意識向上に関する情報、洪水時は注意喚起や避難情報発令に関する情報発信等を行います。

## 令和7年度取組予定【広島地方気象台】

### ・防災気象情報の改善【広島地方気象台】

- ・ 令和6年度、線状降水帯による大雨について、半日前程度から府県単位での呼びかけを開始しました。

## 線状降水帯による大雨について半日前程度前から**府県単位**での呼びかけを開始

線状降水帯による大雨の可能性をお伝え

「明るいうちから早めの避難」・・・段階的に**対象地域を狭めていく**

令和3(2021)年

線状降水帯の発生をお知らせする情報  
(令和3年6月提供開始)



線状降水帯の雨域を楕円で表示

令和4(2022)年～

広域で半日前から予測  
(令和4年6月提供開始)

令和6年度の新たな運用

令和6(2024)年5月27日～

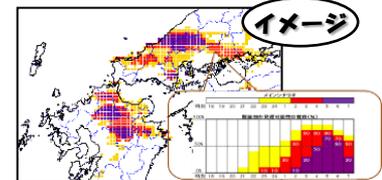
府県単位で半日前から予測

次期静止気象衛星  
令和11年度運用開始予定



令和11(2029)年～

市町村単位で危険度の把握が可能な危険度分布形式の情報を半日前から提供



イメージ

令和5(2023)年～

最大30分程度前倒して発表  
(令和5年5月提供開始)

令和8(2026)年～

2～3時間前を目標に発表

線状降水帯の雨域を表示

「迫りくる危険から直ちに避難」・・・段階的に**情報の発表を早めていく**

※具体的な情報発信のあり方や避難計画等への活用方法について、情報の精度を踏まえつつ有識者等の意見を踏まえ検討

## 国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていく

## 令和7年度取組予定【三次河川国道事務所】

### ① 迫り来る危機に対応する的確な避難行動のための取組

【1-1・2-1】

- ・内水タイムラインの検討・見直し  
→タイムラインに内水の影響を反映するため検討中
- ・内水位の被害想定・情報提供基準の検討  
→内水を含めた多段階浸水想定を検討中(R7年度公表予定)

### ① 迫り来る危機に対応する的確な避難行動のための取組

- ・ダムからの情報提供について、受け手の多様性に配慮した、効率的な情報入手方法の周知手法の検討

### ② 避難時間を確保する効果的な水防対策の取組

【16・19】

- ・危機管理型水位計を用いた河川監視の強化・情報提供
- ・簡易型河川監視カメラを用いた河川監視の強化・情報提供  
→令和7年度に危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラを追加整備予定

### ③ 水防災と地域社会を意識した防災教育の取組

【29-1・30-2】

- ・小中学校などと連携した江の川上流の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充
- ・ハザードマップやタイムラインを考慮した防災ワークショップの開催、住民一人一人の避難計画(マイ・タイムライン)の普及  
→令和7年度も引き続きマイタイムライン作成会・出前講座を実施予定